一般社団法人
宮城県作業療法士会
Miyagi Association of Occupational Therapists

○宮城県作業療法士会の目的○

県民の保健・医療・福祉の充実及び向上に寄与するため、作業療法士が学術研鑽、技能向上に努め、リハビリテーションの普及発展を図ることを目的としています。

○事業内容○

目的を達成するために次のような事業を行っています。

・作業療法士の生涯教育に関する育成、研修事業
・作業療法の普及に関する事業
・作業療法対象者及びそれに関わる保健、医療、福祉関係者を支援するための事業
・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

私は、宮城県作業療法士会のイメージキャラクターです！
宮城県作業療法士会のことをご紹介致しますので、どうぞご覧になってください♪♪

一般社団法人
宮城県作業療法士会

どんな取り組みをしているのだろう？

○地域支援事業を行っています

総合事業参画推進班

それぞれの総合事業で活躍できる作業療法士の育成、情報収集と発信が役割です。

他の専門職の団体とも連携し、リハビリテーション専門職が団結して総合事業に参加できるよう準備しています。

地域包括ケアシステムおよび地域ケア会議推進班

地域包括ケアシステムを理解し、各市町村の地域ケア会議に派遣できる人材の育成を目的とした研修会システムを企画・運営。地域に必要とされる作業療法士の育成を目指し、市町村との連携を図ります.

認知症の人の生活支援班

認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせるようにご本人・介護者・地域の方々へ出来る事、したい事への支援、関わり方、介護に関する支援、認知症理解の普及・啓発を行います。

一般社団法人
宮城県作業療法士会

○認知症の方への生活支援の推進を行っています

OT版　初期集中つうしん　Vol.1 2018.09

平成30年度から作業療法士が各区配置に!!

宮城県作業療法士会「認知症の人の生活支援参画推進チーム」から下記の6名が参加させて頂いております！
皆様にとってより身近な存在となれるよう、「OT版初期集中つうしん」を作成しました！
どうぞよろしくお願い致します！

◎自己紹介◎

青葉区担当　長巻點美
出身地：岩沼市　　好きな飲物：ビール🍺
ひと言：今年から参加させて頂いております。
勉強不足な点も多々あると思いますがよろしくお願い致します!

宮城野区担当　高橋幸恵
出身地：白石市　　好きな場所：山や自然のあふれる場所
ひと言：地域の皆様と一緒に頑張らせて頂きたいと思います。
よろしくお願いします(^^)

泉区担当　伊藤明海
出身地：登米市　　好きな食べ物：グレープフルーツ
ひと言：地域生活を継続するためにどういう工夫や対策ができるか、皆さんと一緒に取り組めることを光栄に思います。よろしくお願いします。

若林区担当　小野咲子
出身地：秋田県　　好きな時間：子供達の野球の試合観戦
ひと言：H25年度のモデル事業ではOT1人でしたH30年度から4人のOTが増え心強いです。地域に根付くようこれからも努力します!

太白区担当　荒谷里美
出身地：秋田県大館市　　好きなこと：旅行・寺社仏閣・日舞…など
ひと言：安心して地域での暮らしが継続できるような関わりを皆さんと一緒に考えていきたいです！宜しくお願い致します。

清山会チーム　齋藤貴子
出身地：仙台市　　好きなミュージシャン：Mr.Children
ひと言：H27年度から活動させていただいております。
まだまだですが、よろしくお願い致しますm^^

認知症初期集中支援チームへの作業療法士参画の推進

認知症・疑いがある方が、安心して地域の中で生活できるよう、依頼に応じて多職種と協働して、会議や訪問を行っています。
「OT 版初期集中つうしん」を作成しました。

認知症に関わる作業療法士の育成

高齢者・認知症の関わりのない作業療法士も含め全ての作業療法士を対象としています。専門知識を活かし、どんな相談にも応じられる人材育成を目的に、研修会を開催しています。

認知症カフェでのボランティア活動

毎月、認知症ミニ講話を行っています。地域の方々も気軽に参加して、体操や生活での困りごとやお薬の相談ができ、認知症について考えられる機会になっています。

地域の方々に向けて認知症の啓発活動

他団体主催イベントにも積極的に参加しています。「物忘れフォーラム」や「RUN 伴」に参加し、地域の方々に認知症を知って頂けるよう、啓発活動を行っています。
「RUN 伴」では、認知症に精通する著名な方々や作業療法士を目指す学生さんと一緒にタスキをつなぎながら、啓発活動を行いました。

一般社団法人
宮城県作業療法士会

○作業療法を楽しく体験できる
ＯＴフェスタを開催しています

毎年、県外からもたくさんの方々が足を運んでくださっています

作業療法のことを一般の方に知って頂くための、作業療法（ＯＴ）フェスタを開催しています。様々なブースを設けており、作業療法士が分かりやすく質問にお答えします。

レザーひもや折り紙を使用した作業体験、自分の想いを見つめ直せる検査体験、また片麻痺や高齢者、骨折の体験ができる障がい者体験など、様々な体験型のブースも用意しています

対象者が実際に作業療法を受け、輝く瞬間を収めた写真展。どの方が一番輝いているかを投票できるコンテストも実施。

ＯＴ劇団員による「ＯＴとは！？」をテーマの寸劇を行うステージ。楽しくＯＴを知ることを出来ます

一般社団法人
宮城県作業療法士会

○学童保育への支援を行っています

放課後児童クラブの職員と、作業療法士が連携して、「生活の場」から子どもの育ちを支援する取り組みです。

取り組みが河北新報にも取り上げられました。

河北新報　2017年(平成29年)12月28日(木曜日)　くらし　(20)

多賀城の放課後児童クラブ

不器用な子 作業療法士支援

日常生活をスムーズに過ごせるように心身の機能回復をサポートする作業療法士が、多賀城市の三つの放課後児童クラブで、みんなと同じことができなかったり、言葉で伝えるのが下手だったりする不器用な子どもの支援を始めた。宮城県の関係者は「少しでも生活しやすい環境をつくることが目的。効果をしっかり検証したい」と期待を寄せる。

（生活文化部・越中谷郁子）

支援員と子どもの対処方法などを協議する吉川さん（中央右）

県作業療法士会と県学童保育緊急支援プロジェクト、クラブの指定管理者「M-YAG-子どもネットワーク」が連携して事業を行う。作業療法士は直接子どもと関わるのではなく、行動観察を通して、放課後児童支援員に生活改善のためのノウハウを伝える。

来年2月まで、県作業療法士会に所属する作業療法士3人が担当するクラブに対する問診

作業療法士　リハビリテーション専門職の一つ。大学や専門学校の養成校を卒業後、国家試験に合格すると国家資格を取得できる。厚生労働省は有資格者を正式な人数としていないが、国に約7万人、県に約1000人が作業療法士会には約900人が所属し、医療・介護の現場で活躍している。

行動観察、ノウハウ伝授

行動観察、ノウハウ伝授　援

問する。

約150人が利用する多賀城市の城南小放課後児童クラブ。作業療法士で仙台青葉学院短大教授の吉川法生さんが19日、1回目の行動観察を行った。子どもたちの遊ぶ姿や紙芝居を楽しむ様子、友達、支援員との関わり方などを約2時間観察し、「力の加減がなかなかできない子がいる場合は無理して押さえず、言葉できちんと話す方が伝わる」と指摘した。

背景を考える

事前打ち合わせでは、よく動き回る子を例に挙げ「体に何かが触れている状態が嫌で、じっと立っていられないのかもしれない」と説明。「子どもは体の感覚を説明できない。それを支援員が分かっているだけで対処方法が変わる」とアドバイスした。

支援員のリーダー鈴木光子さんは「今まで気付いていなかった子どもの特性を指摘され、驚いた。行動の背景にあるものを考えて対処しなければいけないと思った」と述べた。

県作業療法士会の遠又巌会長は「生活課題を見抜けるプロとして作業療法士が支援員と協力して環境を調整すれば、不器用な子はもっと過ごしやすくなる。いいモデルを作っていきたい」と話す。

制度化し継続

作業療法士と放課後児童クラブの連携を初めて実施した岡山県では、「不器用な子の対応について研修は受けているが、現場で実際どうしたらいいか分からない」という支援員の悩みが発端となった。

県学童保育連絡協議会と作業療法士15人が連携し、倉敷市などのクラブ計8カ所で支援。本年度は18クラブに増え、保育所や子育て支援施設などにも広がっている。

全国的にも注目され、これまでに30道府県で講演会やセミナーを開いたという。実際の支援は宮城県のほか、佐賀県や沖縄県などでも始まっている。岡山県学童保育連絡協議会の糸山智栄会長は「子ども保護者も支援員も喜ぶ取り組み。継続していけるように制度化し、全国に広めたい」と語った。

○特別教育支援にも取り組んでいます。

県内の特別支援学校で、子どもたちの健やかな成長のために、学校のニーズも踏まえた取り組みを行います。その子がその子らしく過ごせるよう、定期的な講義や研修会の開催、言葉や環境の工夫の方法など情報の共有や連携した支援が出来るように多職種との交流の場も積極的に作っています。

その他にも、現代のニーズに合わせたテーマに沿った学術大会や人材育成のために様々な研修会を開催しています。

一般社団法人
宮城県作業療法士会

○各ブロックに分かれ、地域の特性に合った活動を展開しています。

- 栗原・登米ブロック　13 施設
- 仙南ブロック　16 施設
- 大崎ブロック　20 施設
- 気仙沼ブロック　9 施設
- 黒川・富谷ブロック　8 施設
- 石巻ブロック　22 施設
- 泉ブロック　22 施設
- 塩釜・多賀城ブロック　13 施設
- 青葉ブロック　35 施設
- 宮城野・若林ブロック　17 施設
- 太白ブロック　20 施設
- 名取・岩沼ブロック　20 施設

○作業療法士　養成校一覧

・東北文化学園大学
〒981-8551 宮城県仙台市青葉区国見６－４５－１

・東北福祉大学
〒981-8522 宮城県仙台市青葉区国見１丁目８－１

・仙台リハビリテーション専門学校
〒981-3212 宮城県仙台市泉区長命ケ丘４丁目１５－１

・東北保健医療専門学校
〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院１丁目３－１

・東北保健福祉専門学校
〒981-3206 宮城県仙台市泉区明通 2-1-1

・仙台青葉学院短期大学　長町キャンパス
〒982-0011　宮城県仙台市太白区長町 4-3-55

○詳細はホームページをご覧ください

・会員向け情報のほか、一般公開講座、イベント等の情報が掲載されます。

・イベントや研修会の報告、作業療法士が勤める職場の紹介などが掲載されています。

ホームページ　【http://www.miyagi-ot.jp/】　QR コード

一般社団法人 宮城県作業療法士会事務局
〒980-0802
宮城県仙台市青葉区二日町 18 - 25　シャルム二日町 603 号
TEL＆FAX　：　022 - 263 - 0098

気軽にご質問してください♪♪